



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)天王寺現業事務所新築外 事務所	
建設地	阿倍野区天王寺町北1丁目	
建物用途	事務所	
建築主		
設計者		
竣工年	2028年2月 予定	
構造/階数	S造 / 地上6階	
敷地面積	1263.06 m ²	
建築面積	666.25 m ²	
延床面積	3434.87 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+
BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロンスイト	ロオフサイト
①参照値	100%				
②建築物の取組み	78%				
③上記+②以外の オンサイト手法	78%				
④上記+ オフサイト手法	78%				

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

項目	スコア
音環境	3.4
温熱環境	2.7
光・視環境	3.1
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

項目	スコア
機能性	3.0
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア = 2.7

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.7
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.1
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	3.4
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 当施設は大阪市阿倍野区に建設する事務所ビルである。 事務所ビルとしての機能性を確保しつつ、省エネルギー性能向上に努める。		その他 特になし
Q1 室内環境 建物外皮性能から室内の温熱環境向上をはかる。	Q2 サービス性能 設備配管には耐用年数の長いものを採用し、建物機能の耐用性を向上させる。	Q3 室外環境（敷地内） 豊かな景観形成に寄与する植栽計画を図る。
LR1 エネルギー 建築外皮性能を向上させることで、外部からの熱的影響を低減させ、建物のエネルギー消費量低減を図る。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用による水資源保護に努める。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を採用しないことで大気汚染防止に寄与する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
外皮性能を高め熱負荷抑制を図る。		
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.7
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.70
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.65